

飼料用米は肉用鶏飼料中のトウモロコシと30%代替することができる

肉用鶏の後期飼料中のトウモロコシを飼料用米で30%代替しても生産性や産肉性に悪影響はない。飼料用米の単価によっては飼料費の節減により低コストで鶏肉を生産することが可能である。

内 容

我が国において飼料用米の栽培は飼料自給率の向上や水田の有効活用などへの期待が大きい。また、米は家畜の中でも鶏が最も利用価値が高いとされている。

そこで、ブロイラー(チャンキー)に4種類の形状(全粒・粉碎/モミ・玄米)の飼料用米を自家配合によりトウモロコシと30%代替した飼料(全量中飼料用米割合15.6%)を給与し、生産性及び産肉性を比較した。

試験区は全粒モミ、粉碎モミ、全粒玄米、粉碎玄米及び対照の5区を設け、ブロイラー200羽を各区40羽ずつに分けてウィンドウレス鶏舎で飼育した。試験は2回行い、飼料用米の給与期間は1回目4~8週齢、2回目が3~7週齢(各28日間)とした。

その結果、いずれの形状も嗜好性に問題はなく、各区とも健康状態は良好であった。平均体重は各区

間に有意差が見られなかったが、すべて試験区の体重が対照区を上回り、特に全粒玄米区が大きい傾向であった(図1)。飼料要求率においても玄米給与区が優れる傾向であった(図2)。正肉歩留まり及び肉の色においても有意差は見られなかった(図3、4)。

普及上の注意事項

戸別所得補償制度により飼料用米の作付けに対して助成(8万円/10a)がなされており、飼料用米の価格がトウモロコシよりも安価であれば、飼料費を下げることができるが、配合の労力を考慮する必要がある(2011年9月のトウモロコシの輸入価格は約28円/kgである。また、市販のトウモロコシ二種混合飼料価格は約50円/kgである)。

龍田 健(家畜部)

(問い合わせ先 電話:0790-47-2430)

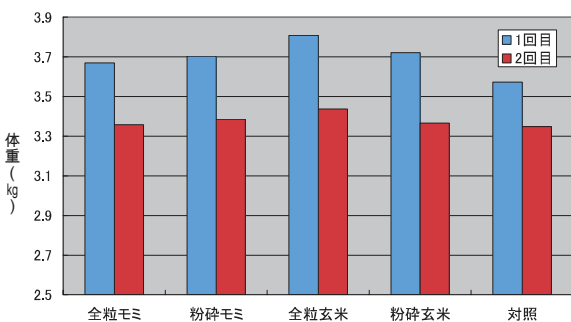


図1 各区の平均体重

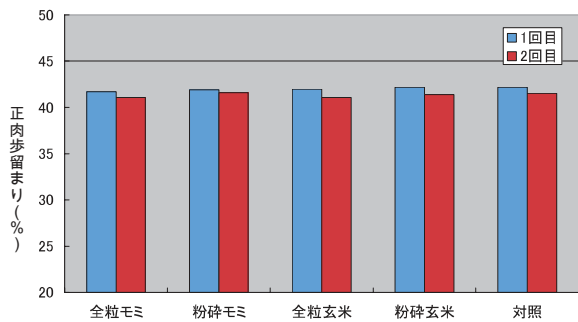


図3 各区の正肉歩留まり²

² (もも肉重+むね肉重+ささみ重) ÷ 生体重 (%)

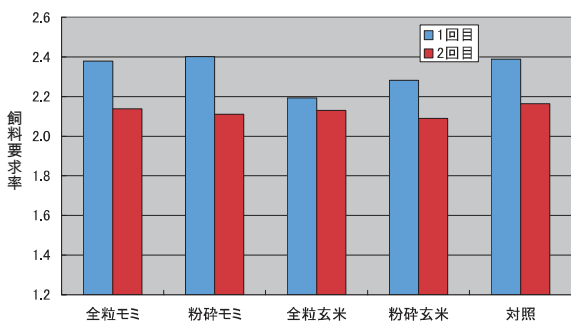


図2 各区の飼料要求率¹

¹ 飼料消費重量 ÷ 増体量

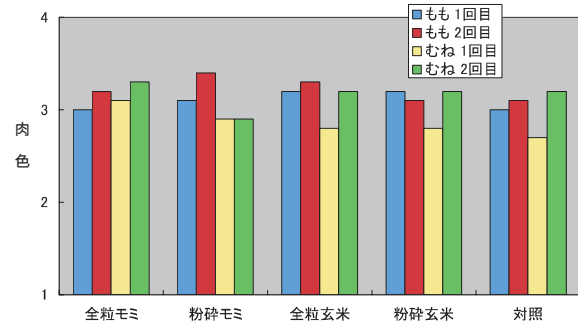


図4 各区の肉の色³

³ 畜試式鶏標準肉色模型 (1: 淡い ~ 6: 濃い)